

(認特) 浜松 NPO ネットワークセンター
2020 年度 事業報告書 (2020/4/1～2021/3/31)

1. 民間非営利組織の発展を支える事業

(1) 共同事務所運営：会議室・事務機器の貸し出し、事務局代行、交流コーナー
事務局代行は、フィリピンナガイサ、浜松環境ネットワークの2団体

(2) 啓発

1) NPO プレゼント講座 in 西部 【静岡県労働者福祉基金協会委託】

① 「出張講座 自分たちの活動をSDGsで発信してみよう」 9月～2021年3月

場所：各団体を直接訪問、または法人事務所

講師：小林芽里、大野木里美、井ノ上美津恵（法人理事） 参加者：10団体

NPO法人等10団体に対し、SDGsの切り口で自分たちの活動を捉えなおし、自団体の紹介シートを「はままつ市民きらきらBOX」に掲載。社会的な発信強化のサポートを行った。

② 「議員とNPOの円卓会議2020」 1/30（土）13:30～16:30

場所：ZOOM（発信拠点 法人事務所）

参加者：28名（NPO21、議員7）、講師スタッフ4

企画委員会には若手5名の外部団体メンバーに参加してもらい、準備を進めた。テーマとして「浜松で何が誰が取り残されたと思う？」を設定。対面でなくZoomのブレイクアウトルームを使つてのグループ討議だったが密着感のある会議となった。ミニ講演会では対話型のパブリックコメントについて紹介があった。

ミニ講座講師 さとうひさゑさん（パブリックコメント普及協会代表）

2) 浜松市南区地域力向上事業 「ステイホームってどうよ！」 【浜松市南区委託】

場所：新津協働センター及びオンライン 参加者：実人数27名、延べ人数56名

① 「この指とまれ、サポーター会議」8/30（日）、9/13（日）、10/11（日）14:00～15:30

5名の方がサポーターとして事業参画。企画アイデア、コロナ禍での多様な人々の生活状況についての情報提供等してもらいながら、事業の企画会議をZoomを活用して行った。

サポーター会議委員（平井明樹夫さん、大貫芳夫さん、アマンダさん、大杉有紀さん、川合由美子さん）

② 「座談会 新しい生活様式ってどうよ!?」 10/18（日）13:30～16:30

1. 「子どもがずっと家にいるってどうよ」、2. 「多文化な南区・家にいて発見したこと」、3. 「おひとりさまの新しい生活様式」、4. 「若い人たちに伝えたい高齢者にとっての新しい生活様式」の4つのテーマでグループを作り、サポーター会議委員による話題提供をきっかけにコロナ禍の中で気づいたこと等について意見交換した。

③ 「人と人をつなぐ暮らしぶりってどんなもの？」 11/1（日）13:30～16:30

講師：西川正さん（コミュニティワーカー）

なんでもお金でサービスを買う社会のありようなど孤立化が進みやすい現代の暮らしぶりからどのように人々のつながりを生んでいけるのか、自立的な市民によるイベントの実施方法

から日常生活の心遣いに至るまで具体的に人とつながる方法が紹介された。

※ 浜松市「市と多様な主体との協働に関する実績・評価抽出調査対象事業となった。



3) 静岡県西部 NPO 法人会・幹事会

9/30 総会、10/23 静岡県県民生活課との意見交換会、幹事会の出席、事務局の補佐

4) フードバンク

6 月～：「はままつ Safety Net」事業 （浜松国際交流協会とコラボ）

外国人市民向け食料支援 のべ 59 家族へ合計 604Kg を提供。

週 1 回の食料管理と箱詰め作業にボランティアを公募し、実人数 9 名がのべ約 25 時間（のべ 57 名）関わる。

8 月、1 月：（認特）フードバンクふじのくに フードドライブに協力 61.5Kg 提供

通年：食料寄贈受け入れ（107 件、1119Kg） 食品提供（96 件、940Kg）

食料のやり取りを通しての連携：フードバンクふじのくに、障害者発達支援センター、企業、子ども食堂、学習支援者、路上生活者支援団体、浜松市市会議員

5) NPO 法人会計基準の普及促進

会計相談 3 件

（3）情報収集・提供

1) ニュースレター年 4 回、ホームページ、ブログ（エヌポケット 17 回、ジョブコーチ 14 回）Facebook、Twitter で発信

2) エヌポケットサロン

・「パブリックコメントに挑戦しよう」 2/10(水)19:00~21:00

講師：西野直哉氏（IT 静岡） 参加者：4 名+講師・スタッフ 2 名

浜松市デジタル・スマートシティ構想案、浜松版 MaaS 構想案について

3) ネットワーク、情報受発信

・「浜松市 SDGs 推進プラットフォーム」会員

・「浜松市デジタル・スマートシティ官民連携プラットフォーム」パートナー会員

（4）地域資源調査

Web サイト「はままつ市民の力きらきら BOX」 内容更新、及び 17 団体追加掲載

（5）提言

1) 行政機関等の各種委員会委員

井ノ上美津恵：浜松市創造都市推進事業補助金審査委員、

静岡県ふじのくに NPO パートナースhip委員、静岡県ふじのくに NPO センター選定委員

大野木里美：湖西市文化の香るまちづくり審査委員、浜松市共同募金委員会委員

木村智子（法人理事）：浜松市都市整備部指定管理者選定会委員、浜松市緑の基本計画策定委員

小林芽里（法人理事）：浜松市市民協働推進委員

島田江津子：浜松市中エリア障がい者自立支援連絡会委員

松井章子（正会員）：浜松市ユニバーサルデザイン審議会委員

2) 静岡県の外国につながる子どもの高校進学・教育保障に関する提言提出

3) パブリックコメント提出

- ・浜松市デジタルスマートシティ構想 5件 → 参考1、その他1、盛込済3
- ・事業者等を守り育てる静岡県公契約条例案 1件

2. 多様な人々の社会参加を支える事業

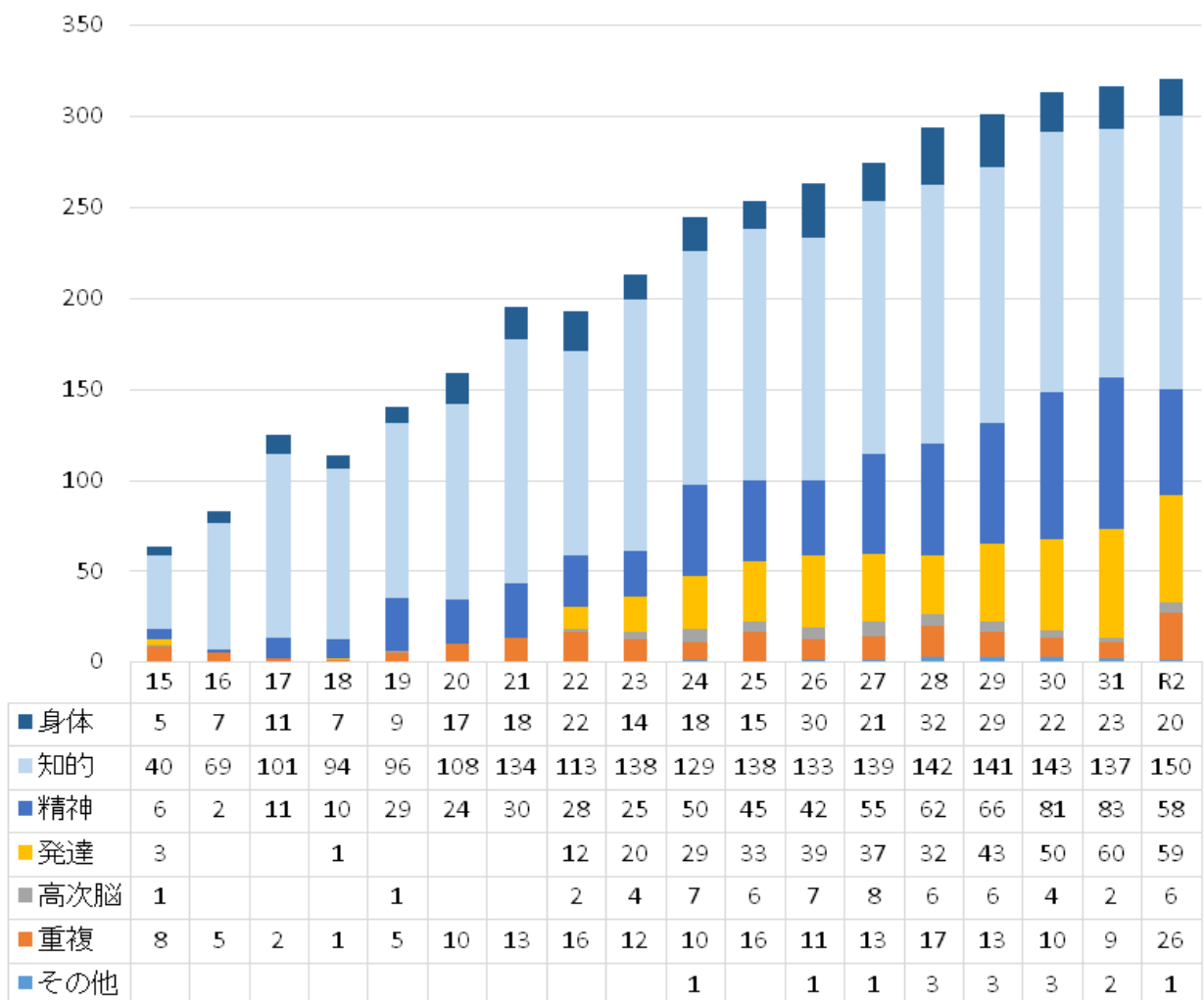
(1) 障害のある人

1) 障害者職場定着支援事業（20年目）【静岡県経済産業部委託】

①ジョブコーチ派遣

支援対象者 300人⇒320（292+28）人 派遣件数 3,600人日⇒3714人日

定着調査 145人（継続 112、離職 25、雇用されない 8）



②ジョブコーチスーパーバイザーによる企業内ジョブコーチへのアドバイス支援

240社⇒134社 240人日⇒257人日

③ジョブコーチスキルアップ研修 10回

ジョブコーチの資質の向上を図る講座を主に Zoom で開催

参加者 43 人（のべ 374 人）

触法障害者に関する対応、愛着障害者の困難事例などを取り上げる。

④障害者職場定着支援者養成研修

静岡県ジョブコーチ希望者および企業担当者、障害者施設などの支援者向け研修

日程：8/18・20・22・24・27 場所：Zoom によるオンライン研修

受講生 51 人、修了証発行 46 人、実習希望者 7 人（6 名終了→4 名 JC 登録）



⑤精神障害者職場環境アドバイザーの派遣

96⇒152 社 288⇒290 人日 定着支援人数 115⇒90 人

定着調査 27 人（継続 24、離職 3）

⑥関係機関との連携

オールしずおかベストコミュニティ コーディネーターとの連絡会（月 1 回）

2）静岡県ジョブコーチ派遣事業運営のための付随事業

① 拠点ミーティングおよび代表者会議 それぞれ月 1 回

② ブログ発信 <http://blog.canpan.info/shizuokakenjobcoach/>

③ 静岡県ジョブコーチ アドバイザリーボード(未実施 3 月末報告済み)

④ 関係団体とのネットワークづくり

・各地区の各種支援会議

3）障害者職業センタージョブコーチ事業（障害者職場適応援助者助成金事業）（18 年目）

【独立行政法人 高齢・障害・求職者雇用支援機構】

職業センターとの連携の下に実施する訪問型ジョブコーチ支援事業（ジョブコーチ 1 名）

4）障害者雇用コンサルタント 【自主事業】

磐田市の病院での支援（中遠拠点）

（2）ICT による社会参加支援

1）西部地域障害者在宅 ICT 機器講習（13 年+5 年目） 【静岡県健康福祉部委託】

申込 31 名（視覚 16、肢体 9、聴覚 2、知的 1、重複 1、精神 2）講師 10 名、実施講座 290H

1 月に 50H 追加、視覚障害者からは iPad・iPhone 講座の申込みが多数、高次脳機能障害 2 名

2) 障害者福祉施設内での iPad 講座+PC 講座 【浜松市社会福祉事業団委託】

iPad10 回 (のべ 73 名) +PC 講座 18 回 (のべ 85 名) ボランティアのべ 62 名
新型コロナウイルス感染拡大予防のため、PC6 回、iPad2 回 中止

3) バリアフリーオアシス (相談、在宅訪問) 【寄付による自主事業】

(特) 六星 視覚障害者 ICT 支援事業立ち上げ協力 他

4) ぽけっと工房 (14 年目) 【自主事業】

登録テレワーカー数 21 名 (四肢 11、視覚 2、知的 1、内部 1、精神 4、聴覚 2)。

今年度実就労者 13 名 (四肢 5、精神 3、知的 2、視覚 1、聴覚 2)

受注実績 16 件 (データ入力、テープ起こし、Web ページメンテナンス等)。

発注者は、大学、団体、任意団体など。

5) iPad 勉強会 (1 年目) 【(公財) 静岡県西部しんきん地域振興財団助成】

「発達障害のある子供たちの学びと育ちを支えるタブレットを使った ICT 支援技術者養成事業」

読み書きに困難を抱える子供たちの教育・生活環境を改善できるよう、当事者や支援者たちがアプリ・タブレットの活用法を理解、身に着け、ネットワークする一歩として 3 回の講座を公開。Zoom 配信した。

① 情報交換会 : 10/31 (土) 15:00~16:30

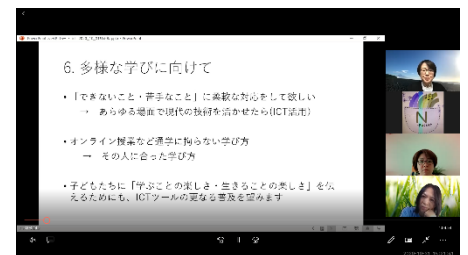
登壇者 : 奈良志保さん (アクティブ)、服部梢さん (葉っぱ隊)、井口亜由美さん (神久呂中教諭)、島田江津子 (エヌポケット ICT リーダー)、井ノ上美津恵 : コーディネーター

② 学習環境づくり講座 : 12/19 (土) 14:00~16:00

講師 : 櫻井望さん (さくら眼科 ICT コーディネーター)

③ タブレット・アプリ活用勉強会 1/23 (土) 14:00~15:00

講師 : iPad 活用者 (中学生)



(3) 多文化・子ども

1) はままつ子どもの学び支援&セーフティネット強化事業

【ベネッセ助成、母子生活支援施設委託】

・アウトリーチ型学習支援 9 家族 12 人 (就学前 1 人、中 8 人、高 3 人) 講師 8 人

・関係者連携支援会議 12/16(水) 15:00~16:30

会場 : 佐鳴台協働センター講座室

参加機関 : 学習支援講師、SSW、民生児童委員、市社協、市生活自立相談支援センター、母子寮、しずおか・子ども家庭プラットフォーム

・外部機関との支援会議 1 回

・支援者研修 MIM ワークショップ 参加者数 : 22 人

会場 : オンライン 8/2 (日) 9:30~12:00、8/16 (日) 9:30~12:00

講師 : 前堀告予さん (元特別支援学級教員)

・こども支援活動団体調査活動 (きらきら BOX やブログに紹介記事掲載) 10 団体を訪問調査

2) 浜松市支援対象児童等見守り強化事業による支援 3 件 (1 家庭)

- ・実施団体 NPO 法人しずおか・子ども家庭プラットフォーム

3) 静岡県の外国につながる子どもの高校進学・教育保障に関する提言提出

(4) 環境・地域の自立

1) 浜松市都市公園市民協働支援事業（2年目） 【浜松市都市整備部委託】

- ・9/28～11/2 「浜松の公園に関するウェブアンケート実施」回答者 77 名

・公園行政職員と共に考えるワークショップ「公園を使いこなそう」

11/6（金）、12/11（金）、1/15（金） 19:00～21:00

参加者：38 名（市民 26 名、公園課他 8 名、講師・スタッフ 4 名）

場所：遥懸夢ビル 3F 及びオンライン

コーディネーター：木村智子さん（フラワーセンター若草代表、法人理事）
浜松市の公園活性化のための人材育成を目的として都市公園に関する講座とワークショップを開催した。ワークショップでは、事前にウェブアンケートも実施し、抽出された意見も参考にして公園の利活用についての現状の問題と解決のために取り組むべき課題について検討した。その結果をリーフレット「公園活用ガイドブック」として取りまとめた。



3. 組織の管理運営

1) 事務局会議

事務局に勤務する全スタッフによる事務局会議を、毎週水曜 10:00～11:00 で 49 回行った。各事業担当者から 1 週間の進捗報告と予定、事務局より事務連絡、組織運営のための相談・協議を行う。年 1 回、4 月に年間戦略会議を持ち、各事業の棚卸、課題の共有、今後の展望等について議論する場を持ち、4/28 に N-Pocket 会議室にてリトリートを行った。

2) 理事会

2020 年度は 3 回の理事会を開催し、事業運営、組織運営に関わる協議を行った。

5/30（土）13:00～15:00 理事 7 名、監事 2 名、その他 1 名 計 10 名

6/10（水）20:30～21:00 理事 9 名、計 9 名

3/26（金）19:00～21:00 理事 9 名、監事 2 名、その他 1 名 計 12 名

3) 総会

6/10（水）12:00～12:30 NPO ネットワークセンター

参加者：正会員 25 名（うち書面表決提出 12 名）+ 委任状提出 5 名（正会員総数 48）

4) 認定 NPO 法人の認定について

2020 年度寄付 146 件（3000 円以上の寄付者数 100 名）

6/16, 23, 26 認定更新に係る実態確認の実施⇒有効期間の更新（2020/8/5-2025/8/4）